



「エコシティたかつ」推進フォーラム ～みんなで作ろう「エコシティの輪」！～

● みんなで作ろう「エコシティの輪」！

「エコシティたかつ」の活動についてこれまでの10年を振り返るとともに、たかつの“これから”を一緒に考えました。

● 環境学習発表会

区内の小学校児童に、ピオトープを活用した学習の成果を発表していただきました。また、環境に関する活動を行っている団体に日頃の活動について発表していただきました。

発表団体：梶ヶ谷小学校、ノクティブラザ

● 講演

「流域で考える過去・現在・未来の豪雨災害」

地球温暖化に伴い、豪雨災害が増える中、環境に適応していくためのまちづくりの考え方について、慶應義塾大学名誉教授の岸由二氏にご講演いただきました。



橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進

- ファーマーズマーケット(高津 さんの市)の開催・定着化
- 農業体験の実施
- 地域交流拠点との連携
- 区役所レストランで橘地区で取れた野菜を使ったメニューを提供
- たちばな風景撮影ツアーの実施
- たちばな風景写真展の実施



みんなで進めよう！「エコシティたかつ」

「エコシティたかつ」は、高津区で生活し、学び、働き、活動する私たちが、それぞれの立場でできることを行い、相互に響き、支えあうことで、大きな推進力が得られます。

「エコシティたかつ」の各プロジェクトでは、支援ボランティア、参加者、協力者の募集を随時おこなっています。メールアドレスをご登録いただいた方には、イベント情報やボランティア情報などをお知らせします。

一緒に「エコシティたかつ」の活動を進めませんか。

詳しくは右記の連絡先にお問い合わせください。



連絡先：
川崎市高津区役所
企画課

電話：044-861-3131 / FAX：044-861-3103
メールアドレス：67kikaku@city.kawasaki.jp



エコシティたかつ

クリック!



「エコシティたかつ」協賛・協力企業

NECプラットフォームズ株式会社、株式会社川崎フロンターレ、久政農園、株式会社富士通ゼネラル、株式会社ホテルKSP、株式会社丸井、森正養鶏場 (敬称略、50音順)

「エコシティたかつ」推進事業 2018年度 報告書概要版
発行日：平成31(2019)年3月
発行者：川崎市「エコシティたかつ」推進会議
事務局：川崎市高津区役所
デザイン：有限会社 tt-unit

…わたしと地球をつなぐ街…

エコシティたかつ

推進事業 2018年度

基本理念

地球環境危機の時代に対応した、
自然の賑わいとともにある
持続可能な循環型都市構造の再生と創造
100年後のたかつのまちのために

「エコシティたかつ」の基本目標



緩和策

低炭素・省資源社会の実現

私たち一人ひとりが身近なアクションをおこし、
地域/地球の二酸化炭素の削減につなげ、資源を
有効に活用します



自然の賑わい・生物多様性

自然共生型都市再生の推進

丘陵などランドスケープを重視した、
生命(いのち)の賑わい豊かな自然共生型の
都市再生を地域から推進します



適応策

地域に即した防災まちづくりの推進

深刻化する局地的な豪雨や洪水、渇水に対し、
流域の水循環に即した“水災害適応型都市”づくり
を推進します

“流域”とは、
降った雨が集まる、
大地の範囲・領域
のことです。



自然の賑わい・生物多様性とは

池や湿地、森など
多様な生態系に、
たくさんの生きものが
相互に関連しながら
生息している状態のことです。



2018年度の プロジェクト報告

学校流域プロジェクト

学校にビオトープ(池や草原、林など)や雨水利用施設を整備し、生きものや水循環について子どもたちが学ぶ場を作るプロジェクトです。



●環境学習支援

区内市立小学校15校と中央支援学校に対し、ビオトープを活用した環境学習を実施しました。

また、学校の理科や総合の学習でのビオトープの利活用を進めるため、区内小学校教職員を対象とした「環境学習研修会」を実施しました。



区役所の緑化等、環境技術導入によるエコシティホール化の推進

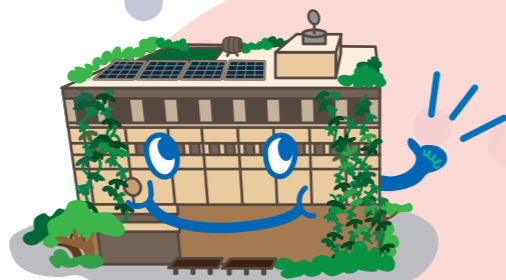
区役所庁舎では、屋上太陽光発電システム、コケによる屋上緑化や職員手づくりのビオトープ、ペットボトルキャップから作られたベンチ、光触媒看板など、環境に関するさまざまな取組を、例として展示しています。

●緑のカーテン事業の展開

5月から9月にかけて区役所や道路公園センターでゴーヤーによる緑のカーテンを育て、取れたゴーヤーを区役所食堂で提供しました。

●エコシティホールツアーの開催

川崎市地球温暖化防止活動推進センターと連携し、区役所庁舎エコシティホールツアー&自然エネルギー体験工作教室を開催するなど、希望者に対してエコシティホールツアーを実施しました。



「たかつの自然の賑わいづくり」事業

専門家と一緒に、水・緑・生きもの調査(外来の植物や生きもの探しも含む)を行い、さまざまな活動を通して、地球温暖化適応策・生物多様性保全への貢献を市民協働で行うプロジェクトです。



●たかつ水と緑の探検隊

川崎市立緑ヶ丘霊園内の森の一部では、常緑樹により林床が暗く、下草が少ないため、保水力が低下しています。霊園内の谷戸の森をモデル地区として、間伐による健全な森の再生や、ホタルやトンボが舞う谷戸づくりを目指して、湿地のための水路づくりを行いました。



●たかつ生きもの探検隊(小学生向け)

専門家と一緒に緑ヶ丘霊園内の森を観察し、生きもの探しなどを実施しました。東京都等では絶滅危惧Ⅱ類に指定されているショウリョウバッタモドキを捕まえるなど、楽しみながら自然の生態について学びました。



こあじろ「小網代の森」環境学習ツアー

「エコシティたかつ」推進事業で実施しているプロジェクトのほか、開発されずに自然環境が残されている、首都圏で唯一の「完結した自然状態の流域=集水域生態系」である「小網代の森」を推進会議委員で見学することで、「流域」について体感し、「エコシティたかつ」推進事業での理解を深めました。

